

令和7年度第1学年音楽年間指導計画・評価計画

	評価の観点	評価材料
観点①	知識・技能	実技テスト・定期テスト・ワークシート・授業への取り組みの様子
観点②	思考・判断・表現	実技テスト・定期テスト・ワークシート・提出物の内容・授業への取り組みの様子
観点③	主体的に学習に取り組む態度	実技テスト・ワークシート・提出物・課題・授業への取り組みの様子

前期；週2時間，後期；週1時間（一斉授業）

（授業者； 三谷 月菜）

学習時期	学 習 内 容		評 価 の 観 点			評価時期	小学校の学習との関連
	学 習 単 元	学 習 内 容	①	②	③		
前 後	4月	ガイドダンス 歌唱「校歌」 My Voice「自分の歌声を見つけよう」	・授業の受け方を習得する。 ・作曲された背景や歌詞から歴史と伝統を感じ取る	○	○	○	7月 7月
	5月	歌唱「主人冷たい土の中に」	・姿勢、発声方法を意識して歌うことができる ・歌詞を覚えている。 ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、自分の歌声に留意しながら、新しい仲間と一緒に表現を工夫して歌う。	○	○	○	7月
	6月	鑑賞「春」	・音楽の特徴を、曲想や背景と関連付けて、そのよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴き、言葉で説明するなどすることができる。			○	7月
	7月	歌唱 浜辺の歌 「赤とんぼ」 「指揮をしてみよう」	・歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲の構成を生かし、表現を工夫して演奏する。 ・歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を感じ取り、情景を思い浮かべながら、表現を工夫して表情豊かに歌う。	○	○	○	7月
		歌唱 合唱コンクール 自由曲・課題曲	・歌詞の内容や曲想、声部の役割を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。	○	○	○	12月
	8月	歌唱 合唱コンクール 自由曲・課題曲	・歌詞の内容や曲想、声部の役割を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。	○	○	○	12月
	9月	合唱コンクール 自由曲・課題曲	・歌詞の内容や曲想、声部の役割を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。	○	○	○	12月
	10月	鑑賞「魔王」 「野ばら」	・詩の内容と曲想とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどすることができる。			○	12月
	12月	創作 Let's Create!	・言葉のリズムや全体のまとまりを感じ取り、身近な言葉のリズムを生かして簡単なリズム曲をつることができる。	○	○	○	12月
		歌唱 音楽を形づくっている要素 「希望という名の花を」	・歌詞の内容や曲想、声部の役割を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。	○	○	○	12月
	1月	鑑賞「日本の民謡と芸能」 歌唱「ソーラン節」	・日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴をとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさを味わいながら聴く。	○	○	○	3月
	2月	器楽「箏」 Let's try! 「箏を弾いてみよう さくらさくら」 鑑賞「箏曲 六段の調べ」	・箏曲の特徴と背景とのかかわりをとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさ、箏の音色を味わいながら聴く。 ・箏の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏する。	○	○	○	3月
3月		歌唱「三送会・卒業式のうた」	・歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫して表情豊かに合唱する。	○	○	○	3月

家庭での学習方法・学習のアドバイス

- ①姿勢、発声法を意識し、言葉に適した口を開け、表現豊かに歌唱する。
- ②楽譜に書かれている歌詞や音楽記号を理解する。
- ③積極的にパート練習に参加する。
- ④授業中にアドバイスをもらったことを楽譜に書き込む。
- ⑤ワークシートは丁寧に記入し、空欄のないようにする。また、ワークシートに書かれていないことを積極的にメモをする。
- ⑥授業中は私語を慎むこと。

令和7年度第2学年音楽年間指導計画・評価計画

	評価の観点	重み付け	評価材料
観点①	知識・技能	34%	実技テスト・定期テスト・ワークシート・授業への取り組みの様子
観点②	思考・判断・表現	34%	実技テスト・定期テスト・ワークシート・提出物の内容・授業への取り組みの様子
観点③	主体的に学習に取り組む態度	32%	実技テスト・提出物・課題・授業への取り組みの様子

週1時間(一斉授業)

(授業者; 三谷月菜)

学習時期	学 習 内 容		評 価 の 観 点			評価時期	小学校の学習との関連	
	学 習 単 元	学 習 内 容	①	②	③			
後	4月	ガイダンス	・授業の受け方を習得する。			○	7月	楽器の音が重なり合う響きを味わう 1～6年 日本のうた心のうた 5, 6年 和楽器 諸外国の文化や音楽
		歌唱「校歌」	・姿勢、発声方法を意識して歌うことができる。	○	○	○	7月	
		歌唱 合唱コンクール自由曲・課題曲	・歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができる	○	○	○	7月	
	5月	Let's try! 「指揮をしてみよう」						
	6月	歌唱 合唱コンクール自由曲・課題曲	・歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができる。	○	○	○	7月	
		歌唱 合唱コンクール自由曲・課題曲	・歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができる。	○	○	○	7月	
	7月	歌唱 合唱コンクール自由曲・課題曲	・歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができる。	○	○	○	7月	
		歌唱 合唱コンクール自由曲・課題曲	・歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができる。	○	○	○	7月	
	8月	歌唱 合唱コンクール自由曲・課題曲	・歌詞の内容や曲想、声部の役割を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。	○	○	○	12月	
	9月	Let's try! 「指揮をしてみよう」						
	10月	音楽を形づくっている要素						
	11月	創作 Let's try! 「郷土の民謡や芸能を調べてみよう」	言葉の抑揚やリズムを感じ取り、反復、変化、対象などの構成を理解して表現を工夫することができる。	○	○	○	12月	
		歌唱 連合音楽会 合唱曲	・歌詞の内容や曲想、声部の役割を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。	○	○	○	12月	
	12月	歌唱 「サンタルチア」	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	○	○	○	12月	
	1月	器楽「箏 さくら変奏曲」 音のスケッチ「構成を工夫して箏で表現してみよう」	・箏の特徴やいろいろな奏法を理解し、曲想や音色を味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。	○	○	○	3月	
2月	鑑賞「雅楽 越天楽」 歌舞伎「勤進帳」 日本と世界をつなぐ音楽 鑑賞「小フーガ ト短調」	・歌舞伎の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ・長唄にふさわしい発声や言葉の特性を理解し、それらを生かしながら表現を工夫して唄う。 ・日本と諸外国の音楽を聴き比べ、その多様さを感じ取ることができる。 ・パイプオルガンの音色を味わい、旋律やテクスチュアなどから音楽の特徴を聴き取ることができる。	○	○	○	3月		
3月	歌唱「三送会・卒業式のうた」	・歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	○	○	○	3月		

家庭での学習方法・学習のアドバイス

- ①姿勢、発声法を意識し、言葉に適した口を開け、表現豊かに歌唱する。
- ②楽譜に書かれている歌詞や音楽記号を理解する。
- ③積極的にパート練習に参加する。
- ④授業中にアドバイスをもらったことを楽譜に書き込む。
- ⑤ワークシートは丁寧に記入し、空欄のないようにする。また、ワークシートに書かれていないことを積極的にメモをする。
- ⑥授業中は私語を慎むこと。

令和7年度第3学年音楽年間指導計画・評価計画

	評価の観点	重み付け	評価材料
観点①	知識・技能	34%	実技テスト・定期テスト・ワークシート・授業への取り組みの様子
観点②	思考・判断・表現	34%	実技テスト・定期テスト・ワークシート・提出物の内容・授業への取り組みの様子
観点③	主体的に学習に取り組む態度	32%	実技テスト・提出物・課題・授業への取り組みの様子

週1時間(一斉授業)

(授業者; 三谷月菜)

学習時期	学 習 内 容		評 価 の 観 点			評価時期	小学校の学習との関連		
	学 習 単 元	学 習 内 容	①	②	③				
①	4月	ガイダンス	・授業の受け方を習得する。		○	7月	1～6年 日本のうた心のうた 3～6年 リコーダー 人々に長く親しまれている音楽		
	5月	歌唱「校歌」 Let's try!「指揮をしてみよう」	・正しい音程で歌うことができる。 ・姿勢、発声方法を意識して歌うことができる。	○	○	○		7月	
		歌唱 合唱コンクール自由曲・課題曲	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌う。	○	○	○		7月	
	6月	歌唱 合唱コンクール自由曲・課題曲	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌う。	○	○	○		7月	
		歌唱 合唱コンクール自由曲・課題曲	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌う。	○	○	○		7月	
	7月	歌唱 合唱コンクール自由曲・課題曲	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌う。	○	○	○		7月	
		歌唱 合唱コンクール自由曲・課題曲	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌う。	○	○	○		7月	
	②	8月	歌唱	・歌詞の内容や曲想、声部の役割を感じ取り、	○	○		○	12月
		9月	合唱コンクール自由曲・課題曲	旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、					
		10月	Let's try!「指揮をしてみよう」	言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。					
11月		鑑賞「アイダから 第2幕 第2場」	・オペラの音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評することができる。	○	○		12月		
		創作「ハンドクラップアンド○○」	・手のリズムや抑揚を生かし、旋律を繰り返して音楽をつくることができる。	○	○	○	12月		
12月		歌唱「早春賦」 「帰れソレントへ」	・歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌うことができる。	○	○	○	3月		
		1月	「花」						
③		1月	器楽「箏」 「さくら変奏曲」	・箏の特徴やいろいろな奏法を理解し、曲想や音色を味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。	○	○	○	3月	
			2月	鑑賞「モルダウ」	・音楽の特徴を、音楽を形づくっている要素や、構造と曲想とのかかわり、背景などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評することができる。			○	3月
		3月	歌唱「三送会・卒業式のうた」	・歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫して表情豊かに合唱する。	○	○	○	3月	

家庭での学習方法・学習のアドバイス

- ①姿勢、発声法を意識し、言葉に適した口を開け、表現豊かに歌唱する。
- ②楽譜に書かれている歌詞や音楽記号を理解する。
- ③積極的にパート練習に参加する。
- ④授業中にアドバイスをもらったことを楽譜に書き込む。
- ⑤ワークシートは丁寧に記入し、空欄のないようにする。また、ワークシートに書かれていないことを積極的にメモをする。
- ⑥授業中は私語を慎むこと。